

講義の概要

担当教員 大賀哲 toga@law.kyushu-u.ac.jp

1. 成績評価

小テスト(10点×3回)＋期末試験(100点)＝130点を合算し、60点以上に単位を認定します(合計点が100点を超えても100点として評価します)。

- ① 小テスト、期末試験共にすべて持込可(通信機能を有した電子機器の持ち込みを除く)
- ② 小テストは授業期間内に(抜き打ちで)、期末試験は教場試験期間内に実施します
- ③ 試験時間は小テストが30分、期末試験が90分です。形式は論述で小テストは1題出題、期末試験は3題出題の予定です。
- ④ 小テストの受験は任意ですので、たとえ受験できなかったとしても追試験等の措置は行いません(但し、小テストを通算で2回以上受験し、且つ教育実習又は公欠に該当する理由で他の1回を受験できなかった場合には、必要書類を教員に提出していただければ、他2回の小テストの平均点を未受験回の小テストの点数として加算します)
- ⑤ 小テストは救済措置を兼ねていますので、この授業では事後の救済を一切行ないません

2. WebCT(Blackboard)の登録について

- ① <https://bb9.iii.kyushu-u.ac.jp/> 教育情報システムのIDとパスワードでログイン
- ② 右上の「コース」を選択
- ③ 右側のコースカタログの「法学部」を選択
- ④ カテゴリの参照で「2013年度」を選択肢、検索ボタンを押下
- ⑤ LA13002 右横の矢印をクリック→登録を押下
- ⑥ 自己登録を「送信」して、登録完了

*上記の方法で登録できない場合は、学籍番号、氏名を教員までメールでお知らせください。

3. 講義スケジュール

講義回	講義日	講義内容
第Ⅰ部 国際社会の基本構造		
講義(1)	4月15日(月)	国際政治学の来歴
講義(2)	4月18日(木)	国際社会の「国際」化
講義(3)	4月22日(月)	戦争違法化と国際法の革命
講義(4)	4月25日(木)	憲法九条(非戦平和思想)の国際的文脈
4月29日(月)は祝日。5月2日(木)は休講。		
第Ⅱ部 国際法共同体と国家主権		
講義(5)	5月8日(水)	国際法の本質と「正しい戦争」(*月曜日の時間割)
講義(6)	5月9日(木)	国際法と国内法
講義(7)	5月13日(月)1限	国際社会における分権化/集権化(5月2日の補講)
講義(8)	5月13日(月)	主権国家の国際法上の意義
講義(9)	5月16日(木)	国際社会における戦争の変容
講義(10)	5月20日(月)	正戦論と殲滅戦争
第Ⅲ部 国際社会の規範—「法による平和」		
講義(11)	5月23日(木)	国際社会における自然法論と「法の支配」
講義(12)	5月27日(月)	国際法学の成立
講義(13)	5月30日(木)	戦争の法制化
第Ⅳ部 国際社会の動態—「外交による平和」		
講義(14)	6月3日(月)	旧外交と新外交
講義(15)	6月6日(木)	「危機の二十年」とリアリズムの登場
講義(16)	6月10日(月)	外交の復権
講義(17)	6月13日(木)	「法による平和」の限界
第Ⅴ部 国際政治学の形成		
講義(18)	6月17日(月)	ネオリアリズムの成立
講義(19)	6月20日(木)	パラダイム論争の展開
講義(20)	6月24日(月)	ポスト実証主義の登場と第三論争
講義(21)	6月27日(木)	国際社会の再構築
講義(22)	7月1日(月)	9.11以降のリアリズム
第Ⅵ部 国際政治と国内政治の連関		
講義(23)	7月4日(木)	国家理性とヨーロッパの多元秩序
講義(24)	7月8日(月)	内政国家と勢力均衡論
講義(25)	7月11日(木)	近代日本の国際社会論
講義(26)	7月16日(火)	規範と現実の多層性(*月曜日の時間割)
7月15日(月)は祝日。7月18日～24日が教場試験期間		